

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

学びの自律化・個別最適化事業

事業の経過・背景・課題

- 個別最適な学びを実現するため、その子に合った方法で目標を達成できるような指導を行うことが求められている。児童生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、教材や学習時間等の提供・設定を行う「学びの自律化・個別最適化」が必要だと考える。
- 南丹市の現状として、不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒が増加傾向にある。多様な状況にある子ども達が、自らの学びを選択し、個別最適な学びを実現させていくことによって、学力を定着させていくことが重要となっている。

取組内容

交付実績額： 2,288 千円

- ・習熟度によって問題が選択できる学習に取り組めるよう、1人1台学習用タブレット端末にA Iドリル「すらら」を導入（経済産業省「探究的な学び支援補助金2023」を活用）
- ・1人1台学習用タブレット端末の活用頻度が増加するためネットワークの安定化が必要となるため、コンピュータやシステムに障害が発生した際に対応できる、予備の設備やサブシステムなどの平常時からの運用を実施



事業の成果・今後の展望等

- 自分のペースで学ぶことができ、採点結果から自分のつまづき箇所が明らかになるため、根本理解につながる復習学習を徹底することができた。また、A Iドリルを活用した個別最適化学習を日々の授業や学習に位置付けることで習慣化を図ることができた。
- A Iドリルの自動採点システムを使うことで、教職員の丸付け作業の負担が軽減され、教科別・観点別に自動集計されるため、集計ミスも防ぐことができ、採点時間を大幅に短縮することができた。
- 今後は、家庭へのタブレット端末の持ち帰りを推奨し、家庭学習でもA Iドリルに取り組めるようにすることに加えて、A Iドリルの効果的な活用方法を理解するための教職員研修を定期的実施する。3ヵ年での事業継続による成果踏まえ、令和8年度から保護者負担での運用を図る。

問い合わせ先

南丹市教育委員会学校教育課（0771-68-0055）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

読書環境充実事業

事業の経過・背景・課題

- 国が策定した「第5次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」に基づき、読書離れが進む児童生徒が魅力的な本と出会う機会を拡大するため、学校図書館の環境を充実し、子どもたちが本に親しむきっかけをつくる。
- 子どもの読書活動推進を図るため、南丹市教育委員会においては、図書館司書（ことばの力育成支援員）の配置や市立図書館と連携した取組を進めるなど、読書環境の充実を図っているが、子どもの図書の出借冊数の増加につながっておらず、活字離れが進んでいる課題がある。

取組内容

交付実績額： 5,517 千円

- 学習用タブレット端末が全児童生徒に配布されたため、学校図書館に併設されているコンピュータールームが現状活用されていない。
- そこで、小学校は、コンピュータールームを読書に親しむスペースや、調べ学習、中学校は、個別読書・学習できるスペースに改造し、子どもたちが本に親しむ環境を整備した。



事業の成果・今後の展望等

- 児童生徒がより気軽に学校図書館を訪れる環境を整えることで、本に慣れ親しむ雰囲気をつくりだし、読書活動の活性化につなげていく。また、中学校は落ち着いて学習ができる環境が整ったため、学力の定着が図れると期待できる。
- 中学校には、さらに個別ブースを増やしていき、落ち着いて読書や自主学習ができるスペースを確保する。また、小学校はさらに本に親しむことができるような本の配置や掲示の工夫を行うことで、読書活動を推進する。

問い合わせ先

南丹市教育委員会学校教育課（0771-68-0055）

学力向上	豊かな人間性の育成	健やかな身体の育成
不登校児童生徒支援	インクルーシブ教育	食育の推進
学校・家庭・地域連携	その他	

事業名

人口減少・少子化を見据えた部活動地域移行 整備事業

事業の経過・背景・課題

- 市立中学校の生徒数が、令和5年度679名に対して令和11年度599名（-11.8%）と急激に減少。
- 団体スポーツの成立困難な部を持つ学校や、小規模校で生徒が望むスポーツができない例がある。
- 活動のための「場所・人」の確保と、生徒の移動手段及び地域指導者の確保が大きな課題である。

取組内容

交付実績額： 803 千円

- ・「南丹市部活動在り方検討協議会」を中心に議論を進め、事業の方向性を確認
- ・1チームの競技人数が多いサッカーと野球を中心に、複数校合同の「南丹市チーム」を作り、地域指導者と教職員が連携して合同練習を実施
- ・サッカー部と野球部の顧問を集め、本事業の趣旨と具体的な取組について、説明会を開催して周知徹底
- ・南丹市部活動ガイドラインを令和6年2月に策定し、令和6年4月から施行

- <野球部の合同練習会・野球教室>
- 令和5年11月18日（土）於：美山中
 - 令和5年12月23日（土）於：園部中
 - 令和5年12月25日（月）於：黄檗球場

- <サッカー部の合同練習会・サッカー教室>
- 令和5年11月18日（土）於：園部中
 - 令和6年3月16日（土）於：丹波自然運動公園
 - 令和6年3月28日（土）於：明治国際医療大学



▶南丹市部活動在り方検討協議会



▶合同練習の様子

事業の成果・今後の展望等

- 1校でチームが結成できない学校の部員達が、合同練習を実施したことにより、月1回程度ではあるが多様で活気のある練習が可能となり、次回の練習を熱望する声が聞かれた。
- 顧問がポジション毎に指導に当たることができ、より専門的なアドバイスが可能となることや、技術指導ができない顧問にとって、大きな負担となる部活指導を他校の顧問が行うことで、教員の負担軽減にもつながった。
- 今後は、「南丹市チーム」の考え方をバレーボール部とバスケットボール部にも広げて同様の取組を展開し、文科系部活動（吹奏楽部）における実施を検討するとともに、入部を希望する部が自校にない場合のモデルケースを作成し、試行するなど取組を進めていく。
- 地域指導者の確保に向けて、様々な方面に働きかけを行い、部活動指導員の確保に努める。

問い合わせ先

南丹市教育委員会学校教育課（0771-68-0056）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

学校現場における業務改善加速事業

事業の経過・背景・課題

- 「学校における働き方改革に係る緊急提言」では、校長及び教育委員会は学校において「勤務時間」を意識した働き方を進めることとされているが、各校に導入されている校務支援システム「クラリネット」の現契約機能では教職員の勤務状況について対応できない。
- 教職員の長時間勤務の実態の改善に向け、学校の管理職及び教職員が勤務時間についての意識をもって勤務できるよう、「見える化」を図る必要がある。

取組内容

交付実績額： 204 千円

- ・「クラリネット」の勤怠管理機能を現状のシステムに導入し、毎日の出退勤時刻を記録することで、管理職及び本人が勤務時間を正確に把握
- ・休暇届、出張届など諸届の提出もシステム上での処理によってペーパーレス化することで、出勤簿管理の合理化・簡易化



事業の成果・今後の展望等

- 学校管理職や教育委員会において、すべての教職員の出退勤時間を把握し、学校ごと、職ごと、個人ごと等の情報を抽出、分析できるようにすることで、学校状況の把握や健康管理、業務改善の効果検証等に活用できた。
- 教職員の勤務時間を正確に記録することで、勤務時間の推移等を「見える化」し、勤務時間に関する意識改革が図れた結果、早期退勤をする傾向が高まった。
- クラリネットはまだ開発に改善の余地があるため、学校現場の意見を集約していき、さらに使いやすいシステムに改善していく必要がある。
- 学校日誌や行事予定機能を加えていくことで、職員伝達メモが作成できれば、さらなる業務の合理化・スピード化が図れる。
- 今後は、同時に導入した他の自治体とも連携して、アプリの機能強化に取り組むなど、教職員が余裕をもって児童生徒と向き合う時間を創出し、よりよい教育環境の整備を図る。